



平成 28 年 1 月 発行

公益財団法人屋久島環境文化財団

TEL 42-2911 FAX 49-1018

明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりありがとうございました。

おかげさまで、本年 7 月には、屋久島環境文化村中核施設開館 20 周年を迎えます。

これもひとえに皆さまの御支援と御協力の賜物と感謝しております。

今後とも皆さまの御期待に添えますよう、環境文化村構想の推進に努めて参ります。

皆さまにとって今年一年がよい年でありますよう、職員一同、心より御祈念申し上げます。

本年もよろしく願い申し上げます。

平成 28 年 元旦



## 告知



屋久島環境文化財団特別企画展

『林 芙美子と屋久島～「浮雲」の舞台を訪ねて～』

期間：平成 28 年 1 月 10 日(日)～2 月 14 日(日)

内容：林 芙美子の人物像と生涯。

林 芙美子の取材地や舞台となった場所などの  
写真の展示。

「浮雲」で林 芙美子が描いた屋久島の紹介。

皆さん、林 芙美子をご存じですか？

幼児環境教育推進事業 屋久島こども森の遊び場

## 「親子 de チャレンジキャンプ」

テントに泊まり、火おこし・夜のお散歩・山登り  
などチャレンジいっぱいのキャンプ。『家族でアウト  
ドアを楽しみたい!』を応援する 2 日間です。

○日時：平成 28 年 2 月 13・14 日(土・日)

○対象：2 才以上の未就学児とその保護者

○料金：1 組 4,700 円(親子 1 名ずつにつき)

※1 名増えるごとに大人 3,030 円、子ども 1,670 円を加算

○募集人数：先着 15 組程度

○申込締切：平成 28 年 2 月 2 日(火)

○問い合わせ：研修センター ☎46-2900 担当：福元

自然・文化体験セミナー「みつけよう冬の屋久島」

冬の白谷雲水峡をトレッキングしてみませんか？

○日時：平成 28 年 2 月 11 日(木)

○対象：高校生以上

○料金：1,500 円(昼食代、保険料込み)

○募集人数：先着 20 名

○申込締切：平成 28 年 1 月 28 日(木)

○問い合わせ：研修センター ☎46-2900 担当：中島

休館日の  
お知らせ

★村センター：1 月 19 日(火)、2 月 15 日～29 日(メンテナンス休館)

☆研修センター：1 月は毎週月曜日、2 月は 1 日・8 日・15 日





# 報告

## 第3回子どもエコ隊「自然を使ってみよう！」

12月12日～13日の「自然を使ってみよう！」ではパンとシチュー作り、里めぐり、門松作りを行いました。特にお正月に向けての門松作りはみんな熱心に取り組んでおり、良い作品ができていました。

次回が今年度最後のエコ隊の活動となります。みんなはエコを活かせるでしょうか。



## ～まるりん撮影会&クリスマス上映会～

12月22日(火)にクリスマス衣装のまるりんと撮影会と映画『ミニオンズ』の上映会を行いました。平日の夕方にもかかわらず、1回目・2回目のどちらの撮影会&上映会もたくさんのお客様で賑わい大盛況でした。

まるりんも、クリスマスの楽しいひと時をたくさん子ども達と過ごしてとても嬉しそうでした。

次回もお楽しみに！



## ふるさとセミナー「冒険しよう」

12月5日～6日に島内の小・中学生を対象にした「冒険しよう」を開催しました。

ペットボトル・空き缶を使ったアウトドアクッキングや、身近なごみの「3R」をテーマにしたクイズラリーをして、夜は自分達で作ったダンボールハウスでキャンプをしました。悪戦苦闘しながらも、子ども達ならではのアイデアがたくさんつまった素敵なハウスができました♪



## 幼児環境教育推進事業「はじめての親子CAMP」

12月26日～27日に「はじめての親子CAMP」を開催し、楽しい時間を過ごすことができました。みんなで頑張って秘密基地を作って遊んだり、トマトカレーを作ったり、寝そべりながら星空を見上げました。最後は宝物探し。

いろいろな宝物を楽しそうに探していました。やはり一番の宝物は、親子の幸せそうな笑顔でした。



インストラクター便り

研修課：福元 豪士

### 『幼児期の遊びは心の育ち～自己肯定感～』

みなさんは、自己肯定感という言葉聞いたことがあるでしょうか。自己肯定感とは、『自己肯定感＝“自分は大切な存在” “自分はかけがえのない存在” と思える心の状態＝自分に自信を持つ心』のことです。

幼少期の生活教育環境によって大きく影響され、人格形成上の重要なファクターとなるとされています。

夢中で遊んでいる状態の子どもは、自分自身の満足をたくさん感じられる体験を重ね自信を身につけていきます。

子どもたちは、自分自身で「遊びきった！」と思えるだけの経験を積み、その積み重ねの中で確かな自己肯定感（自分への自信）を育むのです。

屋久島こども森の遊び場では、こどもの自由な遊び場を作りたいと思っています。まずは大人が余裕を持ち

何かを与えたり関わったりすることを考える前に、



「見守り・待つ」ことが必要なのではないでしょうか。

### 屋久島を想う

早崎 綾乃



屋久島で生まれ育ち、大学進学で島を離れ、再び島に戻ってから4年が過ぎようとしています。島の人でも、縄文杉を見たこと無い人がいますが、私もその1人でした。この美しい自然は生まれながらにそこにあったので、当たり前となり、特別感がありませんでした。この職場に異動してからは、トレッキングや自然観察、里めぐりに関わり、新たな発見と感動を覚えました。屋久島には本当に素晴らしい自然が残っています。それと同時に古くから人々の暮らしと密接な関係を持ち、自然と人間が共生してきた歴史が残っています。今になって屋久島の素晴らしさを実感しています。まだまだ勉強不足ですが、自然に学び、先人に学び、屋久島の良さを島外に宣伝すると共に、私のように屋久島の人間でありながら、屋久島を知らない地元の人たちに理解・関心を深めてもらえるよう努めていきます。